

## 対アルメニア無償資金協力「ロリ州及びシラク州における生産性向上、 食料安全保障及び生計強化に向けた低炭素灌漑技術への移行」計画 完了式の実施

7月15日、ロリ州アイラム村及びチョチュカン村において、「ロリ州及びシラク州における生産性向上、食料安全保障及び生計強化に向けた低炭素灌漑技術への移行」案件の完了式が行われました。

このプロジェクトは、日本政府による資金援助を受けて、UNDPアルメニア事務所がアルメニア地域行政・インフラ省等と連携して実施したものです。

本式典には、青木豊駐アルメニア大使、ナティア・ナツヴィリシュヴィリUNDPアルメニア事務所代表、ゴル・アスリャン・ロリ州副知事を含む関連省庁・機関の関係者が出席しました。

式典においては、アイラムーチョチュカン・ポンプ場およびチョチュカン1ポンプ場を訪問し、新たに設置された太陽光発電設備(300kW)や最新の高効率ポンプを視察したほか、ポンプ場の更新を通じて強化された機能・容量の説明を受けました。

青木大使は、このプロジェクトが、パリ協定に基づく、アルメニアの「国が決定する貢献(NDC: Nationally Determined Contribution)」への寄与に自信を示し、多国間協力の継続に期待を述べました。



整備したポンプ設備



設置された太陽光発電設備



ポンプ場視察



太陽光発電設備の案内



プロジェクト成果に関するプレゼンテーション



青木大使によるポンプ起動



ODA プレート



集合写真